

神話や風土記には、どんなことが書かれているのだろう

① 「古事記」や「日本書紀」について、3つの観点から

いつ（ 8世紀のはじめ ） ・ 書かれるきっかけ（ 天皇の命令 ）

何が書かれているか（ 神話 ）

② 「風土記」について4つの観点から

記されていること（ 各地の人々の生活のようすや、地域の自然 ）

いつつくられたか（ 8世紀ごろ ） 書かれている話（ 地名や山、川の名前の由来、その土地の話 ）

完全な形で伝えられているもの（ 出雲国風土記の内容 ）

（例）

日本の天皇がどのようにして出現したのか分からなかったが、古墳時代の大王が関係してきたことに驚いた。

米作りがはじまってから、むらとしてのまとまりが強くなって、やがて、さらに大きなまとまりになっているのが分かった。

また、米作りが広がったことで、米作りに適した土地や水、たくわえた米などをめぐって、むらどうしで争いがおこってきた。

米作りが始まったことで、よい面もたくさんあったが、一方でくに同士、人同士の争いも出てきたので、複雑な思いがした。

今なお、日本や世界でも身分の違うはあるが、この時代から身分の発生が生まれてきたことがよくわかった。